

脱炭素経営フォーラム ～TCFD・SBT・RE100～

気候変動問題への投資家の取り組み ～ Climate Action 100+ ～

2018年11月28日

株式会社QUICK
常務執行役員／ESG研究所 主幹
広瀬悦哉

気候変動問題への投資家の取り組み ～ Climate Action 100+ ～



2017年にCalPERSなどの主要機関投資家が、気候変動対応を世界規模で推進するため、温室効果ガス発生量の多いグローバル大企業を対象に共同のエンゲージメント活動をとるイニシアチブ
エンゲージメント対象は日本企業10社を含むグローバル企業100社、299の機関投資家が参加している（2018年10月1日時点）
※2018年6月には、署名機関投資家からの要請にもとづき、61の企業が「+リスト」としてエンゲージメント対象に追加された

目的

- ・ グローバルベースで温室効果ガス排出量の多い大企業100社をターゲット
- ・ 発足後5年間、エンゲージメント活動を集中して実施
- ・ 温室効果ガス排出量の削減の推進、気候関連の財務情報開示やガバナンスの強化を求める

対象企業

- ・ MSCI ACWI指数採用銘柄をユニバースとし、CDP質問書への回答結果（スコープ1，2，3および製品からの排出量）をもとに選定した温室効果ガス発生量の多いグローバル企業100社をエンゲージメント対象として選定

対象企業を 評価する事

1. 2度目標に則り、**バリューチェーン全体**で温室効果ガス削減措置を講じること
2. 金融安定理事会（FSB）の**気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の報告**や、産業別の「Global Investor Coalition Investor Expectations on Climate Change」の**ガイドライン**などに沿った**気候関連の情報開示の促進**
3. 気候変動に対する企業経営陣の説明責任と監視の状態を明確に説明できる**強いガバナンス構造の実施** など

気候変動問題への投資家の取り組み ～ Climate Action 100+ ～

参加投資家



エンゲージメント対象企業より一部抜粋

日本企業



and more...

グローバルな責任投資に関する研究を専門とするアナリスト、コンサルタントを擁し、年金基金、運用機関、および企業のCSR/IR/経営企画部門に必要なESGデータ、分析レポート、および戦略アドバイザーを提供する

- 2014年4月 「QUICK EIRIS ESGサービス」の提供を開始
- 2014年10月 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の「年金積立金管理運用独立行政法人におけるスチュワードシップ責任及びESG投資のあり方についての調査研究業務」を受託
- 2015年2月 事業法人向けアドバイザーサービス「QUICK ESGサービス for Corporation」を開始
- 2015年5月 「QUICK ESG研究所ポータルサイト」を開設
- 2016年2月 米議決権行使助言会社大手 グラスルイス（GLASS LEWIS）とパートナーシップ契約を締結
- 2016年7月 CDP水のスコアリングパートナーに認定
- 2017年7月 CDP気候変動、水、森林スコアリングパートナーに認定
- 2017年11月 FTSE Russell 公式データベース使用ライセンス取得

【国際的な活動】

PRI署名機関

CDPゴールドデータパートナー、CDP気候変動、水、森林スコアリングパートナー

JSIF法人会員、理事

RI（Responsible Investor）Asia 2014、2015 共同スポンサー、2016、2017、2018 リードスポンサー

Vigeo Eiris パートナー

Glass Lewis パートナー

FTSE Russell パートナー（ESG Ratings Data Model: FTSE Russell ESG Module & Ratings）

Signatory of:



GLASS LEWIS

CAUX ROUND TABLE

About QUICK ESG 研究所

QUICK ESG研究所 ポータルサイト <https://www.esg.quick.co.jp>

